

令和7年度 次世代創出PBL推進事業
実施報告書【学校課題実践校用】

学校番号	39
学校名	富山県立となみ野高等学校

学校の現状と課題	<p>・本校で学ぶ生徒は、不登校の経験や家庭環境等における悩みや困難を抱えていたり、全日制高校からやむなく進路変更したりした生徒など、その実態は多様化している。定時制で学ぶことは、教科、科目の履修と単位取得が学校生活の基軸となっているが、ホームルーム活動や学校行事はその準備の時間も限定されるため、必ずしもバリエーション豊かなものとなっていないのが現状である。</p> <p>また、本校の生徒は卒業後、地元に残って生活する割合が高く、地域振興の役割を担うことが期待されるが、これまでに地域振興にねらいを絞った教育活動は多くはなかった。</p> <p>これらの現状に対し、生徒の目線に立った講師の招聘や地元で活躍する人材や集団の招聘、ワークショップ等の実施を通してより意欲的に参加できるホームルーム活動の充実を図りたい。こうした学びの場を活用し、自他理解や人との関わりを学ぶ機会を設けたい。</p>	
テーマ(特色)	<p>・生徒が意欲的に参加できるホームルーム活動等の充実を図る。</p>	
設定した「テーマ」の達成状況	<p>・お笑い芸人や演奏者、影絵作家などの専門的な技術や知見を有する講師、とりわけ若者が興味を持つような講師等を招聘し、講話やワークショップを開催、生徒が意欲的に参加できるホームルーム活動を行った。</p> <p>また、地域の良さの再発見し、地域振興の役割を担うことにつなげる活動として、地域交流や地元の魅力発信に携わる担当者や食文化研究者を招き、講演、体験学習を実施した。生徒は校内で一人一人が意欲的に参加し楽しめる活動を経験し、学校生活を充実させるとともに、将来設計や自他理解、他者との関わりを学ぶことができた。</p>	
実施内容 (具体的に記入する)	<p>・下記のホームルーム活動を実施した。</p> <p>地域の良いところ発信しよう！(居住地の良さを発信する動画作成に向けて:①砺波市、南砺市、小矢部市職員や地域おこし協力隊員の講話と資料作成 ②お笑い芸人による面白く情報発信するための講話と資料作成 ③ケーブルテレビスタッフの講話と資料作成)、地域交流に関する講話 将来設計の一助としての身だしなみやマナーの講話、情報・AIビジネスの講話 食文化研究家の講話と体験教室、影絵作家の講話と体験教室、バイオリン奏者の講話と体験教室</p>	
取組による成果 (プロジェクト学習推進の観点から)	<p>生徒の目線に立った講師を招聘し、講話やワークショップ等の学びの経験を通して、生徒は学校生活での意欲的な活動を経験できた。また、体験活動、ワークショップ等の他と関わる活動を通して、自他理解と他者との関わりを学ぶことができた。</p>	
対象者(学年・人数など)	本校全生徒約130名	
実施実績	4月	年間計画作成
	5月	ホームルーム活動の実施(1年次 前期2回)
	6月	
	7月	
	8月	
	9月	
	10月	ホームルーム活動の実施(1年次、3・4年次 後期2回)(2年次 後期3回)
	11月	
	12月	
	1月	
	2月	活動のまとめ、効果検証
	3月	